

つくば学園ロータリークラブ



6月7日(木)例会報告

増山会長月例挨拶

6月例会のご挨拶

会長 増山 栄



いよいよ2006～2007年度最後の月、6月がやってまいりました。私と幹事の退任のご挨拶は慣例により、今月最後の総会にて行うこととなっておりますので、今年一年の事業のご報告とご協力への御礼はそのときにとっておくことに致します。

また、昨晩は最後の理事会というのに大いに激論を交わしたところがございますが、無事今年度のすべての議事のご承認を頂きました。

さて、今頃になって改めてつくば学園ロータリークラブとはどんなクラブなんだろうと考えてみました。

格言に「人は40歳になったら自分の顔に責任を持って！」というのがあります。恐らくロータリアンの多くの会員はこの自分の顔に責任を持た

なければならぬ40歳以上であると思います。つくば学園ロータリークラブにあっては殆ど40歳以上のメンバーで構成されています。ロータリークラブとは世代を超えた職業人の集合体であります。そして、そのなかで培われた友情の輪が大きな力となって社会奉仕をする団体であります。多くの会員がロータリークラブに所属するようになって初めて知り合い、友情が生まれ、同じことを悩み、助け合い、喜びを分かち合えるようになり、それが年齢や職業、社会的地位による上下の隔たりもなく、共通の目的によって結び付けられた、すばらしい集合体ではないでしょうか？それは、少なくともつくば学園ロータリークラブ会員の一人一人が自分の顔に責任をもって行動しているからだと思います。

つくば学園ロータリーは2820地区の中でも存在感のあるすばらしいクラブであると自負していますし、私は他のクラブの会員に対しても機会あるごとに、つくば学園ロータリークラブの充実した活動とつくばならではのメンバー構成のユニークさをよく話題にします。

つくば学園ロータリークラブに、本年度出席率ゼロの会員は一人もおりません。なかなか通常の例会に出席困難な会員も地区や分区の行事や夜の例会などには可能な限り出席されました。

私のロータリー暦はたかだか17年ですが、ほかの歴史のあるクラブには40年も50年もロータリーをやっておられる多くの先輩がいます。これからも大いにロータリー人生を楽しみたいと思います。

各担当理事・委員長 事業報告

職業奉仕委員会

皆葉 真治 委員長

上期

10月12日 株式会社岡村製作所（テクノパーク豊里）の見学を行いました。

下期

2月15日 新世代奉仕委員会との合同企画、「中学生と語る会」を豊里中学校で行いました。



会員増強・会員選考・職業分類委員会 中村 義雄委員長

1 会員増強

各会員の増強意識が会員の増加につながり、本年も純増1名。RIの目標でもある女性会員の加入は、今年度もなかった。

2 会員選考

入会手続きについて、以前に変更があり、文章化していないため、やや手続き上に問題がありました。今後の増強のために、つくば学園RC細則の条文に入会の手続きの項目を追加することが必要。

3 職業分類

RIとして新しい職業分類表は1990年発行以来作成されていないので、今後も従来の分類表に従って、クラブ独自の分類を検討する。



社会奉仕委員会

- 1 本年も、継続事業として、ロータリーの森「山百合の里」づくりを実施する。
（つくば市遠東ゆかりの森に、山百合の球根の植え付け、森の整備、ボーイスカウトによる「めだかの放流」）

今後も、つくば市のイベントの森になるよう、継続事業としてやる事を望む。

- 2 RI会長の強調事項である、「識字率向上」の運動として、つくば市国際課の推薦でもある、つくば市在住の外国人日本語学習ソフト「Eランニングシステム」の製作推進を、シティークラブと共同事業として、つくば市振興財団に製作資金を20万援助する。目下製作途中であるが、これも筑波大学と、日本語学習の先生方の、ボランティア活動により完成するものであるため、継続援助が必要。

国際奉仕委員会

井田 充夫 委員長

- 1 フィリピン医科医療奉仕活動参加
(7/7~7/11) 東郷会員
- 2 納涼会参加 (7/15)
・ゆかりの森に留学生を招待し、親睦をはかる。
- 3 国際奉仕研究会参加 (7/30)
・2つのWCSに協力
 - ① フィリピン
「ロータリー奨学生 里親プロジェクト」…7万円
 - ② ネパール 「小学校建設資金」…3万円
- 4 モンゴル訪問 (8/5~8/9)
・日本にホームステイした子供たちと交流。
・ウランバートルの
現地ロータリークラブ会長と会い、バナー交換。
- 5 祭つくばに模擬店参加 (8/26 27)
・アクトと協同で国際交流の場を提供する。
- 6 筑波大学主催の以下の会に参加
・留学生懇親会
・地域交流団体等との意見交換会 (11/15)
- 7 国際親睦会(移動例会)を旬彩酒房で開催 (2/22)
・30カ国 80名の参加
- 8 GSEメンバー5名をカスミ本部、牛久大仏等に案内 (4/16)
・ホストファミリーとしてGSEローラ・ペレニックさんを受け入れ。(4/16 17)
- 9 国際親睦会(移動例会)を筑波大学内レストランプラザで開催 (5/17)
・16カ国 57名の参加



第一クラブ奉仕委員会

石川 英昭 委員長

- 1 会員増強
期首 61名 期末会員数 63名
純増 2名 であった。
次年度は、更なる強化を願う。
- 2 クラブ特色である森の創成事業
本年度は、継続として、山百合の球根を植え、
更なる景観づくりを心がけた。尚、納涼会なども
実施し、特に、そば打ちチャンピオンを招き、
楽しく、美味しく実施できた。
- 3 友好クラブとの交流について
次年度、調印の更新となるため、
特に実施はしなかった。



第二クラブ奉仕委員会

上野 修 委員長

会員相互の融和の中に、会報の充実、プログラム委員会の魅力ある例会、そして親睦委員会企画での新入会員との一体感を見出すことができたように思います。



会場監督 菅原 俊 委員長(五十嵐 幸裕 副委員長)

- 1 会長・幹事・プログラム委員会・その他の委員会との連絡にて、例会の円滑な進行し、各位会員には例会に多数参加いただいた。
- 2 クラブ来訪者・ご来賓、招待者に失礼の無いよう、会場の規律と節度ある例会を実施した。また、本年度より会場内禁煙を実施し会員相互の思いやりもうかがう事ができた。次年度もまた、会場内禁煙については継承頂きたい。
- 3 会員各位の奉仕活動資金としてのニコニコボックスの重要性をご理解頂き、会員当り3万円を目標を掲げ、総額にて達成した。



青山 大史 会員 入会



今回より、青山大史会員が入会されました。

ビジター

植草 邦彦 様	船橋南ロータリークラブ
---------	-------------

ニコニコBOX

植草 邦彦	久方ぶりに、お邪魔します。
五十嵐 幸裕	遅ればせながらノルマ達成です。ニコニコボックスも第4コーナーにかかりました。最後のスパートを、残り3回の例会で必達、お願いします。
稲葉 浩吉	6月9日で満67歳になります。
小城 豊	6月3日、稲葉、上野、両師匠に連れられて、鮎つりデビューいたしました。ご指導ありがとうございました。また新たな趣味が増え、遊びに忙しくなりそうです。
鯨井 規功	本日より、青山さんが参加いたしておりますので、鯨井同様、かわいがっていただければと思います。よろしくお願い致します。
国府田 仁兵衛	本日でノルマ達成です。
下村 正	3クラブ合同ゴルフコンパで、めずらしくニアピン賞を2ついただきました。早速、たくさんの料理として出てきて、いやになるほど食べさせられました。体からシイタケが出てこないかと心配しています。
塚田 陽威	5月に結婚祝い（37回目）と、6月に誕生祝い（64才）を頂きまして、ありがとうございます。いよいよ、人生も残り少なくなってきました。仕事に遊びに、充実した日々が送れるよう、頑張ります。
中村 義雄	6月1日花屋さんより電話があり、明日お花をお届けします。とのこと。“何の花ですか？”と聞くと、“中村さんの結婚記念日だそうです”忘れていました。つくば学園ロータリークラブからの花束で、お陰さまで48年結婚記念日を思い出し、感謝！
野堀 喜作	残り1ヶ月 ご苦労様の増山年度。残り1ヶ月で、出航準備の石川年度。意味は違いますが、ご苦労さまです。
増山 栄	先日、結婚記念日に生花が届けられました。ありがとうございました。7月中旬から、久しぶりに夫婦で旅行に出かけます。いよいよ最終月となり、会長職も残すところあとわずかです。最後まで、よろしくお願いします。
綿引 信之	出席率の責任は果たせませんでしたので、ニコニコの責任は果たします。

本日の合計	¥89,000-
本年度累計	¥1,622,000-

出席率

会員数	出席数	欠席数	内無届欠席数	出席免除	出席率
63名	49名	11名	0名	3名	81.67%

プログラム 予告

6月14日(木) 委員長 事業報告発表
 6月21日(木) 同好会 活動状況発表
 6月28日(木) 定時総会
 次年度事業計画案について

—————[0708石川年度]—————

7月 5日(木) 理事 事業計画発表
 7月12日(木) (夜の移動例会) 直前会長・幹事 慰労会
 会場：霞月楼 PM7:00～

7月16日(日) (移動例会) 納涼会・国際交流パーティ
 会場：ゆかりの森 AM11:00～

7月19日(木) 休会 7月16日(木) ゆかりの森移動例会と振替

7月26日(木) 委員長 事業報告発表

■編集後記■

「欧州ウナギ輸出規制！」これからがシーズンとなる時期にあまり喜ばしいニュースではないが、新任の赤城徳彦農相のコメントでは日本への影響は二、三年後だという。日本ウナギの産卵場所はグアム島沖スルガ海山付近だ。孵化後海流に乗って体長5cm程のシラスウナギの状態では日本の河川に辿り着く。5年から10年程かけ成長した産卵場所へ戻っていくという、随分とスケールの大きな回遊魚だ。養殖は天然のシラスウナギを捕え育てる事で行い、卵から孵化させる完全養殖はいまだ実用化には至っていない。「土用の丑にうなぎ」は平賀源内の発案らしいが養殖の始まりは江戸時代まで遡る。当時は江戸深川や浜名湖で行われ、現在は鹿児島県や愛知県で養殖物が多い。スーパー等で売られる安い蒲焼は中国産が多く、その何割かが欧州ウナギの稚魚を養殖している。それを加工してから日本に入ってくるから、これもまた随分と大きな地球規模の回遊となるが、その目はきっと青いはずだ。

クラブ会報委員 齊藤 修一

例会日 木曜日 12:30～13:30

例会場 「オークラフロンティアつくば」 つくば市吾妻1丁目1364-1

ホームページもご覧下さい
<http://www.46gama.com/>

つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047

茨城県つくば市千現2丁目1番6 つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100

FAX 029-858-0101

Email:gakuenrc@axel.ocn.ne.jp

